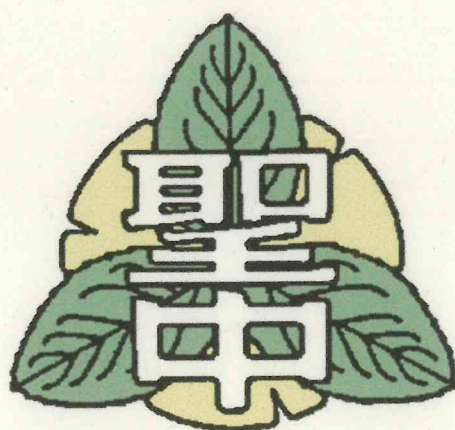


令和 6 年度

第 1 学年 シラバス



多摩市立聖ヶ丘中学校

1年	国語科	教材	『国語1』（光村図書）・『単元別漢字1』（秀学社）・『光村の国語のワーク1』（光村図書）・『中学書写』（光村図書）・『図解で！わかる文法』（学宝社）・『国語便覧』
-----------	------------	----	---

【国語科で目指すこと】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通じて、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力を育む態度を養う。

【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
<p>① クラスの友達の考えも参考に、様々な視点でものごとを考えよう。一緒に解決していく雰囲気をつくろう。</p> <p>② 多様な語彙について関心を持ち、習った言葉は失敗を恐れず使ってみよう。日常生活においても、授業で習ったこととのつながりを感じよう。</p> <p>③ ワークシートはよく考え、「自分の言葉」で表現して、伝えたいことをまとめよう。毎時間の目標を意識しよう。</p>	<p>① 毎週ある漢字の小テストに向けて、習った単元の漢字を何度も復習しよう。</p> <p>② ワークは復習として使い、答えにたどり着くための考え方を理解しよう。</p> <p>③ 朝読書以外でも、本を読む時間を大切にしよう。</p>	<p>① 学問の基本は語彙力です。まずは、漢字や語彙力について確実な定着を目指そう。</p> <p>② 単元ごとに、「どのような力をつけるために勉強したのか」を思い出そう。ワークシートを中心に復習しよう。</p> <p>③ テストの2週間前から、計画的に復習できるようにしよう。日々の復習ができていると、とてもスムーズです。</p>

【評価について】

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字（語句）テスト ・文法テスト ・定期考査 など
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの取り組み状況 ・定期考査 ・課題作文等 など
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中のプリント ・授業中の取り組み状況 ・提出物等の取り組み状況 など

各観点の比率は1：1：1です

【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19～21	湯目 松永	80点 20点
第2回定期考査	9/26, 27	湯目 松永	80点 20点
第3回定期考査	11/19～21	湯目 松永	80点 20点
第4回定期考査	2/25～27	湯目 松永	80点 20点

【担当者からのメッセージ】

【湯目】
国語を学ぶことは、身近にある様々な事象について理解を深め、世界を知り、自分を知ることにつながっていきます。きっとあなた自身の世界が広がっていくことでしょう。様々な物語を読み、様々な言葉を知り、話し合い、学びあうことであなた自身の幅を広げてください。一緒に頑張りましょう。

【松永】
国語の授業は、ただ文章を読むだけの時間ではありません。文字による情報以外にも、図や音声での情報など、様々な情報を正確に受け取り、理解する力が大切です。また、その上で、自分の考えをもち、表現することができるようになると、日常生活の様々な場面で、過ごしやすくなりと思います。全ての基本となる力を、楽しみながら身に付けていきましょう。

【1年間の学習内容】

学期	単元	学習内容	単元/題材ごとに付けたい主な力
1 学期	1 学びを開く	・シンシユン	・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。
	2 新しい視点で	・ダイコンは大きな根？ ・ちょっと立ち止まって	・段落の役割に着目しながら、事実と意見を読み分け、文章の内容を捉える。 ・文章と図の関連や段落と段落の関係に注意して文章の構成を捉える。
	3 言葉に立ち止まる 【書写】 読みやすく書くための楷書	・詩の世界 ・漢字の筆遣い ・楷書に調和する仮名	・詩を読んで、語句の意味を的確に捉え、内容を理解する。 ・詩の表現の特徴を捉えて読み、描かれた情景を想像する。 ・点画の種類を確かめ、漢字の筆遣いに注意して楷書で書く。 ・楷書に調和する仮名の筆遣いや字形に注意して、整えて書く。
2 学期	4 心の動き	・大人になれなかった弟たちに… ・星の花が降るころ	・表現の特徴や時代背景を押さえ、作者の思いを捉えながら自分のものの見方や感じ方を考え直す。 ・文脈の中で使われている語句の意味を捉え、情景を想像して読む。
	5 道筋を立てて	・「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。
	6 いにしえの心 にふれる 【書写】 ・読みやすく書くための楷書 ・読みやすく速く書くための行書	・蓬萊の玉の枝 ・今に生きる言葉 ・文字の大きさと配列 ・行書の特徴	・語句に注意しながら、現代の文章と古典の文章とで異なる部分を確認、古典の文章に読み慣れる。 ・故事成語の由来と意味を理解する。 ・文字の大きさ、配列などについて理解し、楷書と楷書に調和する仮名で書く。 ・漢字の行書の特徴を理解する。
3 学期	7 価値を見いだす	・「不便」の価値を見つめ直す	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方や出展の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。
	8 自分を見つめる 【書写】 ・読みやすく速く書くための行書	・少年の日の思い出 ・随筆二編 ・丸み、点画の連続 ・点画の変化	・場面展開や人物の描写に注意して作品を読み、登場人物の心情の移り変わりを捉える。 ・場面と場面、場面と描写などを結び付けて解釈することができる。 ・行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を書く。

1年**社会科**

教材

【歴史】・新しい社会 ・歴史の資料

【地理】・中学校の地理 ・中学校社会科地図

・モーレツドリル（家庭学習用） ・トラスト（バラテスト）

【社会科で目指すこと】

- ・基本的な知識をしっかりと理解し、基礎基本の定着をはかる。
- ・地図や年表などの資料を読み取ることができる。
- ・資料から発見できたことを具体的に表現することができる。
- ・学んだことを基に、知識を関連づけ、多面的・多角的に考察し表現することができる。
- ・課題解決に向け自らの学習を振り返りながら、粘り強く学習に取り組み、主体的に社会に関わろうとする。

【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
<ul style="list-style-type: none"> ・授業を大切に、気付いたことや大事なことをプリントに記入し、自分のプリントを作りましょう。 ・資料や図などを見て、特徴を考え出来事などが起こる原因や背景について根拠をもって考えましょう。 ・これまで学習してきた知識や技能を関連づけたり、活用したりして自分の意見を書きましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の予習をしましょう。 ・復習をワーク等で行いましょう。 ・得意でない問題は、担当教員に質問するなどしましょう。 ・世の中の出来事に関心を持ち、学習で獲得した知識などと関連がないか考えましょう。 ・ニュースなど新しい出来事を知り、その出来事について疑問を探してみてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に復習しましょう。 ・教科書の音読や問題演習を繰り返し行い、学習内容を友達に説明できるようにしておくといいです。 ・自分が理解していることとそうではないことを整理し、まだ不十分なところはさらに学習しましょう。 ・指示語などの理解や文章表現なども重要です。国語やその他の教科の勉強も大切してください。

【評価について】

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能	定期考査、ワークシート、レポート等
思考・判断・表現	定期考査、ワークシート、レポート等
主体的に学習に取り組む態度	ワークシート等

各観点の比率は1 : 1 : 1です。

【担当者からのメッセージ】

- ・自分自身の考えや意見を発言や記述などを通して、たくさん表現してほしいと思います。
 - ・班活動や発表の際は、他の人の考えや意見をしっかりと聞き、自分の考えや意見をあらためて確認したり、考えや意見の変容を感じたりしてください。
 - ・地理と歴史は別々に学習しますが、相互に関連しています。今学習していることが歴史と地理でどのようにつながっているか、関心をもってみてください。
 - ・ニュースなどで世の中の出来事を知るとき、社会の学習で出てきたなど感じる瞬間が増えるように、意識して学習し情報に接してみてください。
- 1年間よろしくお祈いします。

【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19～21	伊藤	100点
第2回定期考査	9/26,27	伊藤	100点
第3回定期考査	11/19～21	伊藤	100点
第4回定期考査	2/25～27	伊藤	100点

【1年間の学習内容】

学 期	単元	学習内容	単元/題材ごとに付きたい主な力
1 学 期	≪地理≫ ・世界の姿 ・日本の姿 ・人々の生活と環境 ≪歴史≫ ・歴史の流れ、時代の特色のとらえ方 ・古代までの日本	・地球や世界の国々の位置、見方 ・日本の位置や県庁所在地 ・世界の様々な生活環境と生活様式の特色 ・歴史の流れ、時代の特色のとらえ方 ・人類・文明・宗教のおこり ・古代日本の成り立ち、政治や文化の様子	・緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解する。 ・我が国の国土の位置、時差、領域とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解する。 ・日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ・生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり与えたりすること、世界各地における人々の生活や文化から、生活や環境の多様性を理解する。 ・世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解する。 ・日本での農耕の広まりと、生活の変化や人々の信仰、大和朝廷による統一と東アジアとの関わりや、律令国家の確立に至るまでの過程、東アジアの文物や制度を取り入れた国家の構築を理解する。
2 学 期	≪地理≫ ・世界の諸地域 ≪歴史≫ ・古代までの日本 ・中世までの日本	・各州の国やその気候や産業の様子 ・古代日本の成り立ち、政治や文化の様子 ・武士の成長や政権の誕生 ・鎌倉時代の生活・文化	・生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり与えたりすること、世界各地における人々の生活や文化から、生活や環境の多様性を理解する。 ・律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治、東アジアの文物や制度を取り入れた国家の構築を理解する。 ・古代社会の変化や、時代の特色を多面的・多角的に考察し表現する。 ・鎌倉幕府の成立、元寇、主従の結び付きや武力を背景とした武家政権の形成などを理解する。 ・武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の成立とユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世社会の変化を多面的・多角的に考察し、表現する。
3 学 期	≪地理≫ ・世界の諸地域 ≪歴史≫ ・中世までの日本	・各州の国やその気候や産業の様子 ・東アジアとの関係 ・戦国の動乱と室町幕府	・生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり与えたりすること、世界各地における人々の生活や文化から、生活や環境の多様性を理解する。 ・南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、武家政治の展開とともに、東アジア世界との関わりを理解する。 ・諸産業の発達、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを背景とした社会や文化について理解する。 ・武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の成立とユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世社会の変化を多面的・多角的に考察し、表現する。

1年	数学科	教材 ・新しい数学1(教科書) ・数学の学習ノート(ワーク) ・単元別プリント基礎から発展へ(カラープリント)
-----------	------------	---

【数学科で目指すこと】

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。

(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したリ、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
◇その日の授業目標の達成をめざして集中して取り組み、忘れ物をしないように注意しましょう。 ・持ち物は教科書、ファイル、ノート、ワーク、定規、色ペンなどです。 ◇説明、問いかけをきちんと聞きましよう。 ◇ポイントを書き込むなど工夫してノートやファイルをまとめましよう。 ・問題を解くときは、解く過程の式や考え方を書き、まちがいは赤ペンで書き直すなどの工夫をましよう。 ◇わからないことを放置せず、質問するなどして解決ましよう。 ・ファイルやノート、教科書を活用して振り返りができるようにましよう。 ・友達や先生に遠慮せず質問ましよう。	◇その日の授業内容を復習する習慣を身に付けましよう。 ◇宿題はきちんと取り組み、提出期限を守りましよう。 ◇ワークなどを活用して計算練習を少しする進めましよう。 ※数学の問題を解くための基本は計算です。家庭学習で繰り返し練習して計算力を高めてください。	◇テスト直前に学習内容を詰め込んでもなかなか身に付きません。テストの2週間前から計画的に学習ましよう。 ◇教科書やノート、ファイルを手がかりに、覚えるべき用語や記号、内容を確認ましよう。 ◇ワークの問題、プリント、教科書の問題など解き直ましよう。 ・答え合わせをして、まちがえた問題はしっかり理解し、わからない問題を放置せず、質問ましよう。 ※ワーク・プリント・ノートの取り組みが、テスト前・テスト当日・テスト後の提出物になることがあります。

【評価について】

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能	・定期考査 ・小テスト ・授業での取組
思考・判断・表現	・定期考査 ・小テスト ・授業での取組
主体的に学習に取り組む態度	・定期考査・課題の取組 ・小テストの取組 ・授業での取組 ・提出物の内容

各観点の比率は1 : 1 : 1です

【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19~21	塚原 河上・今井	100点
第2回定期考査	9/26, 27	塚原 河上・今井	100点
第3回定期考査	11/19~21	塚原 河上・今井	100点
第4回定期考査	2/25~27	塚原 河上・今井	100点

【担当者からのメッセージ】

《学習について》

- ・中学生の時期は、たくさんの事を吸収できる時期です。与えられた課題に取り組むだけでなく、自ら課題を見だし、解決する力を身に付けましよう。
- ・自分は「数学はできない」と、決めつけずに少しずつできることを増やしていけば着実に伸びます。得意な人は、さらに深く考えて数学の面白さを味わってください。
- ・わからないと思ったら早めに質問して解決ましよう。わからないままにしないことが大切です。

《授業について》

形態：習熟度別授業

- ◇2クラスを3つのグループに、1クラスを2つのグループに分けて行います。クラスの組み合わせは学期毎に変えます。※当初は、番号順のグループに分けて授業を行います。
- ◇どのグループも教科書にそって授業をすすめる、定期考査は、どのグループも同じ問題に取り組みます。

★タブレット端末を活用した授業を行いますので、毎回の準備に持参してください。

【1年間の学習内容】

学期	単元	学習内容	単元/題材ごとに付けたい主な力
1 学期	0 整数の性質	整数の性質	<ul style="list-style-type: none"> 九九表の並びからきまりを見いだし説明できる。 自然数、素数、素因数分解について理解する。 正負の数の必要性和意味や大小関係を考え、数直線上に表したり、絶対値をもとに不等号で表すことができる。 正負の数の加法と減法の意味を理解し、計算できる。 正負の数の乗法と除法の意味を理解し、計算できる。 四則の混じった計算や分配法則を利用した計算ができる。 正負の数を利用して身長や平均など、身の回りの問題を解決できる。
	1 正負の数	正負の数 加法と減法 乗法と除法 正負の数の利用	
	2 文字と式	文字を使った式 文字式の計算 文字式の利用	
2 学期	3 方程式	方程式とその解き方	<ul style="list-style-type: none"> 方程式とその解の意味を理解し、等式の性質を使って方程式を解くことができる。 移項の考えを使って方程式を解くことができる。 かっこや小数、分数を含むいろいろな方程式を解くことができる。
	4 比例と反比例	1次方程式の利用 関数と比例・反比例 比例の性質と調べ方 反比例の性質と調べ方 比例と反比例の利用	
	5 平面図形	図形の移動	
3 学期	6 空間図形	基本の作図 おうぎ形 いろいろな立体 立体の見方と調べ方 立体の体積と表面積	<ul style="list-style-type: none"> コンパスと定規を使って簡単な作図ができる。 垂線、線分の垂直二等分線、角の二等分線を作図する方法を理解し、作図することができる。 円の接線や75°の角など、いろいろな作図ができる。 おうぎ形の弧の長さや面積が中心角に比例することを理解し、弧の長さや面積を求めることができる。 身の回りから立体を見いだし、いろいろな見方で分類できる。 多面体、正多面体の意味と特徴を理解する。 空間内に平面が決まる条件や平面や直線などの位置関係、つくる角について理解する。 立体の展開図を理解し、おうぎ形の中心角を求めたりできる。 投影図について理解する。 立体の体積や表面積の求め方を理解し、それらを求めることができる。
	7 データの分析と活用	データの整理と分析 データの活用 ことがらの起こりやすさ	

1年	理科	教材	iPad・教科書・ファイル・理科の完全学習（問題集）
-----------	-----------	----	----------------------------

【理科で目指すこと】

- 1 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- 2 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 3 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
<ul style="list-style-type: none"> 先生が話しているときは、先生の方を見て、手を動かさず、集中して話を聞きましょう。 実験は安全に行えるよう、理科室使用のルールを必ず守ること。 実験は必ず班のメンバーと協力して行い、実験の様子をよく観察しましょう。 考察はじっくり考え、分かりやすい言葉で書きましょう。 授業ではまず自分の力で考えましょう。その後、班や学級の仲間の意見を聞き、考えを深めてから自分の考えを再構築しましょう。 よく発言しましょう。みんなの発言で授業が進みます。 	<ul style="list-style-type: none"> 普段の生活の中で起こることに、常に「なんでだろう？」という疑問を持ちながら生活しましょう。 授業で学習した内容が、日常生活で実際に起こっていないか、目を凝らしてみましょう。 授業で学習した内容は、すぐに教科書やプリント、理科の完全学習（ワーク）などを用いて復習しましょう。 授業中の先生の話の思い出しながら、勉強しましょう。 家庭で復習をする中で、分からない項目はメモしておき、理科の先生に聞くようにしましょう。 基本的には毎日復習して、定期考査前に慌てることのないようにしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的には、家庭での日々の学習と同じ学習をしてください。 教科書を読み返し、特に太字の単語は必ず覚えましょう。 ファイルに入れたプリントを見返しましょう。実験のプリントは、実験の目的や手順、器具の名称、考察の内容などを復習しましょう。 よくわかる理科の学習は授業中にも解きますが、試験範囲に該当するページは繰り返し解きましょう。特に、できなかったところは繰り返し解き、できるまで行いましょう。 また、ワークなどに取り組む時は、知識を覚えるだけでなく、なぜそのような結果になるのかを考えながら取り組みましょう。

【何をどのように評価するのか】

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小中テスト パフォーマンステスト ワークシート 実験、観察のレポート
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ワークシート 実験レポート 小中テスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 各種テスト 実験レポート 学習振り返りアンケート

各観点の比率は1：1：1です

【担当者からのメッセージ】

理科は、日常生活の中にある“さまざまな現象”を扱った教科です。理科の学習では、その“さまざまな現象”がなぜ・どのようにして起こるのかを理解していきます。この1年間は、授業中に言われたことや重要事項を覚えるだけではなく、その現象を“理解”し、“納得”できるまで、調べたり考えたりすることも大切にして下さい。日常生活の“さまざまな現象”が「そういうことだったんだ」と分かる経験を積んでいきましょう。

【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19～21	佐藤	60点
		山田	40点
第2回定期考査	9/26、27	佐藤	60点
		山田	40点
第3回定期考査	11/19～21	佐藤	40点
		山田	60点
第4回定期考査	2/25～27	佐藤	40点
		山田	60点

【1年間の学習内容】 ★担当 佐藤先生

学期	単元	学習内容	単元ごとに付けたい主な力
1 学期	○物質 身のまわりの物質	1章 いろいろな物質とその性質 2章 いろいろな気体とその性質 3章 水溶液の性質 4章 物質のすがたとその変化	身のまわりの物質の性質をさまざまな方法で調べる実験を行い、物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだして理解するとともに、ガスバーナーや電子てんびんなどの実験器具の操作、記録のしかたなどの技能を身につける。 気体を発生させてその性質を調べる実験を行い、気体の種類による特性を理解するとともに、気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身につける。 物質が水に溶ける際の水溶液の均一性を、粒子のモデルで理解する。また、水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連づけて理解する。 物質の状態変化についての観察、実験を行い、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだして理解する。また、物質の融点や沸点を境に状態が変化することを知るとともに、混合物を加熱する実験を行い、沸点の違いによって物質の分離ができることを見いだして理解する。
2 学期	○エネルギー 光・音・力による現象	1章 光による現象 2章 音による現象 3章 力による現象	光の反射や屈折の実験を行い、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を見いだす。また、凸レンズのはたらきについての実験を行い、物体の位置と像の位置および像の大きさや向きとの関係を見いだす。 音についての実験を行い、音はものが振動することによって生じること、音は波として空気中を約340m/sの速さで伝わること、および音の大きさや高さは音源の振動のしかたに関係することを見いだす。 物体に力をはたらかせる実験を行い、物体に力がはたらくとその物体が変形したり、動き始めたり、運動のようすが変わったりすることを見いださせるとともに、力は大きさと向きによって表されることを理解する。また、2力のつり合いの実験を行い、1つの物体にはたらく2力がつり合う条件を見いだし理解する。
3 学期			

【1年間の学習内容】 ★担当 山田先生

学期	単元	学習内容	単元ごとに付けたい主な力
1 学期	○生命 いろいろな生物とその共通点	1章 植物の特徴と分類 2章 動物の特徴と分類	身近な植物の外部形態の観察を行い、その観察記録などにもとづいて、共通点や相違点があることを見いだして、植物の体の基本的なつくりを理解すること。また、その共通点や相違点にもとづいて植物が分類できることを見いだして理解すること。 植物に対する興味・関心をもち、植物を観察するときどのような点に注目すればよいかを考える力を身につけること。 身近な動物の外部形態の観察を行い、その観察記録などにもとづいて、共通点や相違点があることを見いだして、動物の体の基本的なつくりを理解すること。また、その共通点や相違点にもとづいて動物が分類できることを見いだして理解すること。 動物に対する興味・関心を高め、動物を観察するときどのような点に注目すればよいかを考える力を身につけること。
2 学期	○地球 活きている地球	1章 身近な大地 2章 ゆれる大地 3章 火をふく大地 4章 語る大地	身近な地形などの観察を通して、大地の成り立ちなどを理解する。観察器具の基本的な扱いなどを身につける。 地震計の記録から地震のゆれの特徴を理解させ、記録の分析により地震のゆれの伝わり方の規則性を見いだす。また、地震の原因などをプレートとの動きと関連づけて理解する。 さまざまな火山の活動などを調べさせ、それらの様子はマグマの性質が深く関係していることを考察させるとともに、マグマからできる火成岩の特徴を、成因と関連づけて理解する。 地層の重なり方や広がり方の規則性、構成する岩石や化石をもとに、地層が堆積した時代や当時の環境を推測させたりすることを通じて、地層のでき方を理解する。また、プレートと火山活動や地震などとの関連を総合的にとらえさせ、大地からの恵みや災害について理解する。
3 学期			

1年**英語科**

教材

教科書(Here We Go ENGLISH COURSE 1)、BINGO、フォニックス、ジョイフルワーク、ファイル

【英語科で目指すこと】

- 英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにしよう。
- 英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにしよう。
- 英語を読むことに慣れよう。英語を読んで書き手の思いなどを理解できるようにしよう。
- 英語で書くことに慣れよう。英語を使って自分の考えなどを書くことができるようにしよう。
- 英語を楽しんで学習し、基礎となる知識をしっかりと身に付けよう。

【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
<ul style="list-style-type: none"> • 持ち物や課題など、授業の準備をしっかりと行い、万全の状態ですべて授業に臨もう。 • 先生の話や指示をよく聞いて、集中して取り組もう。 • 発音練習や音読練習の際は恥ずかしがらずに大きな声を出そう。 • ペアワークやグループワークの際は、英語を使って積極的にクラスメイトと話そう。 • 先生やALT、教科書の音声をよく聞いて英語独特のリズムやイントネーションに慣れよう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 宿題や課題に取り組もう。 • 単語は手間を惜しまず、毎日声に出しながらドリル練習をし、少しずつ覚えよう。 • 教科書のQRコードを利用して、英語の音声を聞き、教科書本文の音読練習に励もう。 • 日常生活の中で疑問に思ったことは放置せず、まずは自分で調べよう。 • ワークはその日のうちに習ったところの該当ページに取り組もう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 試験範囲の単語を覚えよう。 • 教科書本文を覚えるくらい何度も繰り返して音読しよう。 • 日本語訳を見て教科書本文を書けるようになるまで練習しよう。 • 授業で配布されたプリントを復習しよう。 • ワークなど、課題にしっかりと取り組み、できるようになろう。 • わからないことはそのままにせず、先生やクラスメイトに聞こう。

【評価について】

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能	• 定期考査・小テスト
思考・判断・表現	• 定期考査・小テスト・パフォーマンステスト
主体的に学習に取り組む態度	• 小テスト・パフォーマンステスト • 提出物 • 授業への取り組み

各観点の比率は1 : 1 : 1です。

【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19~21	平田・三浦 曾根	100 点
第2回定期考査	9/26. 27	平田・三浦 曾根	100 点
第3回定期考査	11/19~21	平田・三浦 曾根	100 点
第4回定期考査	2/25~27	平田・三浦 曾根	100 点

【担当者からのメッセージ】

皆さんは「英語」が好きですか。小学校の英語と中学校の英語では何が違うのだらうと思っている人もいるでしょう。

中学校では、「話すこと」、「聞くこと」に加えて、「書くこと」、「読むこと」を学習します。中学校の英語を単語練習や文法の学習としてイメージすると、どうしても堅苦しい教科のように感じてしまいます。しかし実際には、英語は自分の世界を広げるツール（道具）であり、世界中の人とコミュニケーションをとるためのツールなのです。もちろん、単語や文法を覚えることは英語を学ぶ上で重要なことです。授業では、机上で筆記具を使って学ぶことに加えて、友達と英語を使って会話したり、実際にネイティブの生きた英語や物語等に触れたりして、人と人とのつながりを大切にしながら楽しく英語を学んでいきたいと思えます。

中学校3年間で英語を使ってどのようなことができるようになりたいですか。自分自身のゴールを設定し、積極的に元気に授業に取り組みましょう。

【1年間の学習内容】

学期	単元	学習内容	単元/題材ごとに付けたい主な力
1 学期	Let's Be Friends! Unit 1 Here We Go! Daily Life 1 国際郵便 Unit 2 Club Activities Unit 3 Enjoy the Summer World Tour 1 世界の中学生 Active Grammar 1 You Can Do It! 1	気持ちや状態を表す語 色を表す語 国の名前 数を表す語 ローマ字 日付や月を表す語 アルファベット 英語の音とつづり I am ～. I like ～. / I don't like～. I can ～. / I can't ～. Are you～? / Do you ～? / Can you ～? What do you ～? I like dancing. I want to ～. How many ～? am, are / 一般動詞 / can	<ul style="list-style-type: none"> ・会話から、その人の情報を聞き取ることができる。 ・自己紹介カードに、自分の情報を書くことができる。 ・海外宛ての送り状に、宛名や住所を書くことができる。 ・会話から、好みや得意なことなどを聞き取ることができる。 ・好きなことや得意なことなどについて、たずね合うことができる。 ・インタビューから、したいことなどを聞き取ることができる。 ・夏休みにしたいことについて、アンケートを取ることができる。
2 学期	Unit 4 Our New Friend Unit 5 This Is Our School Daily Life 2 落とし物 Active Grammar 2 Unit 6 Cheer Up Tina Active Grammar 3 Daily Life 3 カフェ World Tour 2 世界の時刻 Active Grammar 4 Let's Read 1 What Am I? You Can Do It! 2	He is ～. / She is ～. Who is ～? Is he ～? / He isn't ～. Where is ～? Watch your step. When is ～? Whose ～? 代名詞 She likes ～. Does she ～? She doesn't ～. is / 3人称単数現在形 Which ～? How much ～? What time ～? 疑問詞	<ul style="list-style-type: none"> ・人物紹介から、基本的な情報を聞き取ることができる。 ・身近な人などについて、基本的な情報を紹介することができる。 ・学校公開の案内状から、時間や場所などを読み取ることができる。 ・お気に入りの学校内の施設について、たずね合うことができる。 ・落とし物の持ち主を探すやり取りができる。 ・紹介文から、その人物が誰かを読み取ることができる。 ・身近な人の基本的な情報を伝える、紹介文を書くことができる。 ・飲食店で、注文をするやり取りができる。 ・疑問詞を使ったいろいろな疑問文とその答え方を理解することができる。 ・説明文から、“I” についての情報を読み取ることができる。
3 学期	Unit 7 New Year Holidays in Japan Active Grammar 5 Daily Life 4 ウェブサイト Unit 8 Getting Ready for the Party Active Grammar 6 Daily Life 5 ラジオの中継 Let's Read 2 The Lion and the Mouse You Can Do It! 3 Let's Read More My Japanese Lessons	I went ～. Did you ～? It was ～. 動詞の過去形 I am baking ～. Are you baking ～? It looks ～. 現在進行形	<ul style="list-style-type: none"> ・はがきから、出来事や感想などを読み取ることができる。 ・冬休みの出来事や感想などを伝える、はがきを書くことができる。 ・一般動詞と be 動詞の過去形について理解することができる。 ・ウェブサイトから、必要な情報を読み取ることができる。 ・写真の説明から、その場の状況を聞き取ることができる。 ・写真に、状況を説明するキャプションを書くことができる。 ・ラジオの中継から、現地の様子を聞き取ることができる。 ・物語から、あらすじを読み取ることができる。 ・学校紹介のウェブサイトを読んで、自分たちの学校と同じところや違うところを見つけることができる。 ・グループで学校行事の紹介ページを作ることができる。 ・レポートから、筆者の体験に基づく感想などを読み取ることができる。

1年	音楽科	教材	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の音楽 1 ・音楽のハーモニー 1 ・ファイル (配布プリント) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の器楽 ・アルトリコーダー ・全てをまとめて入れるバッグ 	<ul style="list-style-type: none"> ・New Chorus Friends ・タブレット
-----------	------------	-----------	--	--	---

【音楽科で目指すこと】

- 1 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。
- 2 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。
- 3 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
<ul style="list-style-type: none"> ◇忘れ物や遅刻をしないようにしましょう。 ◇周りの人の様子を伺うのではなく先生の指示は自分の耳でしっかり聴こう。 ◇苦手でも嫌いでもまずはとにかくやってみよう。 ◇先生を良く見て真似しよう。 ◇「はじめはうまくできなくてあたりまえ」他の人と比べたりあきらめたりせずにコツコツ練習しよう。 ◇自分の耳で聴いて、自分の心で感じて、自分の頭で考えて、自分の身体すべてを使って表現しよう。 ◇歌うときは、常に楽譜をしっかりと見て音符と歌詞の関係や色々な記号に注意をはらおう。 ◇鑑賞するときは、その音楽を聴いたらどんな気分になるかに意識を向け、そう感じた理由は何かをよく考えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇身の回りの音に敏感になろう。 ◇身の回りの音楽と生活とのかかわりについてときどき考えてみよう。 ◇普段から素敵な音楽をたくさん聴いて色々なイメージをもつようにしよう。また、その音楽によってもたらされるイメージや感情の変化は、音楽のどのような要素によるものなのかを考えるような、分析的な聴き方も時々試みよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇音楽の基礎的な知識について授業で習ったことをしっかりと覚えておこう。 ◇楽譜を良く見直し、音符と歌詞の関係やいろいろな記号の読み方や意味をしっかりと確認しておこう。 ◇授業中にいつも注意されたり直されるところを思い出して、どのように歌ったり構えたりすればよいか確認しておこう。 ◇作曲家やその曲の時代背景などについて理解し、覚えておこう。 ◇音楽のいろいろな要素と曲想（それぞれの音楽の雰囲気など）との関わりについてまとめておこう。 ◇普段から自分なりの表現の工夫（「もっとこう演奏したい」というイメージ）を考えておこう。

【評価について】

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の活動（表現・鑑賞等）や実技に関する知識と技能 ・ワークシート類の記入内容 ・定期考査（知識・技能に関する問題）
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の活動や実技テストにおける表現 ・ワークシート類の記入内容 ・定期考査（表現の工夫や楽曲理解に関する思考・判断に必要な事柄に関する問題）
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の活動や実技テストに臨む意欲と態度 ・授業の振り返りシート等の記入状況 ・定期考査

各観点の比率は1 : 1 : 1です

【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19～21	森	100点
第2回定期考査	9/26, 27		
第3回定期考査	11/19, 20, 21	森	100点
第4回定期考査	2/25～27	森	100点

【担当者からのメッセージ】

◇まずは音楽の多様性・面白さ・楽しさを知り、実際に感じることに。そのことを一番の目標として授業を進めていきます。

そして、音楽によってもたらされるイメージや感情は音楽のどのようなしくみによって作られていくのかを探り、実際の表現に生かしていけるようにします。

音楽から感じたことを人に伝えるためには、言葉に置き換えることが必要です。また人は言葉によって思考しているため、授業では特に自分が感じたさまざまなイメージを言葉にして表現する（伝える）ことを重視しています。日ごろから様々な文章を読み、様々な言葉や表現の仕方を知っておくことも重要です。

◇表現（特に演奏）の技能には個人差があります。しかし、全員がここまでできるように頑張ってほしい…というのが評価の基準になります。

初めはうまくいかなくても、一生懸命取り組んでいればいつの間にかできるようになります。そのがんばっている姿を評価します。自分を周囲と比べて力を加減したりあきらめたりするのではなく、自分のやるべきことをしっかりとやりましょう。「周りの人が声を出さないから自分も出さない」という気持ちでいる人がいますが、「声を出さない周りの人」とはその人自身のことです。自分ががんばらない言い訳を他の人のせいにして、がんばっている人を悪く言うような人がいたら、その人はもちろんそのクラスはどんどんダメになっていきます。

だからこそお互いが励ましあい、高めあえるクラス、みんなが一緒に思い切り声を出して歌えるクラスを目指しましょう。そうすれば、合唱の楽しさや鳥肌が立つくらい感動を全身で味わえるときがきっとありますよ。

1年生(1年間の学習内容)

*学校行事等との関係で、曲目や順番を入れ替えて実施する場合があります。

学期	題材名	学習内容	題材ごとに付けたい主な力
1 学期	オリエンテーション 呼吸法・発声法を知ろう 変声期について知ろう SDGs3, 5	<ul style="list-style-type: none"> 授業でのルール 正しい呼吸法と発声法 音の高さを聞きわける 変声期の体と心 『校歌』を歌う 校歌の詞の意味と歌う意義 校歌の3番を作詞する 	<ul style="list-style-type: none"> 授業でのルールを確認し中学校に音楽の授業がある理由を考える 正しい呼吸法と発声法を身に付ける 変声期について医学的・精神的側面から知る 新しい仲間と元気よく歌う意欲をもつ 校歌の詞の意味を知り創ることで歌う意義を考える
	イメージをもたらす音楽の秘密を探ろう SDGs4	<ul style="list-style-type: none"> 映画音楽『ジョーズ』『ET』のテーマ、『春』を鑑賞する 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の気分を感じとり、音楽を形づくっている要素との関係を知覚しながら鑑賞する ソネットを手がかりに各部分の音楽の気分を感じ取る
	音楽によってリズムを打とう 音のつながり方の特徴を生かしてリズムを創作しよう SDGs17	<ul style="list-style-type: none"> リズム打ちとリズム創作 学習した音符や休符を使ってリズム曲を創作し個人端末の音源を使用して演奏する 	<ul style="list-style-type: none"> 音符や休符について理解する 音楽によってリズムを打つことができる 学習した音符や休符を使ってリズム曲を創作し個人端末の音源を使用して演奏する
	混声合唱にチャレンジしよう	<ul style="list-style-type: none"> 混声二部合唱に取り組む『明日の空へ』 	<ul style="list-style-type: none"> 混声合唱のハーモニーを感じながら合唱する
	いろいろな合唱曲を聴こう	<ul style="list-style-type: none"> 合唱祭の自由曲について考える 	<ul style="list-style-type: none"> 合唱曲のハーモニーのおもしろさを感じながら、自分たちにふさわしい曲を考え、選ぶ ハーモニーや響きを味わって鑑賞する
	指揮で音楽を伝えよう SDGs17	<ul style="list-style-type: none"> 指揮法 指揮で曲の雰囲気表現する 	<ul style="list-style-type: none"> 指揮法の基本を学び、音楽のイメージが伝わるように指揮する
	曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう SDGs17	<ul style="list-style-type: none"> 合唱祭に向けて混声合唱に取り組む『明日の空へ』『各クラス自由曲』 	<ul style="list-style-type: none"> 曲の特徴を生かして表現を工夫する 混声合唱の響きを味わう 混声合唱のバランスを工夫して歌えるようにする 歌詞のメッセージを伝える表現を工夫する ハーモニーを味わいながら合唱する 歌詞のメッセージを伝える表現を工夫する
2 学期	英語で歌おう SDGs4, 16, 17	<ul style="list-style-type: none"> 合唱祭の全校合唱曲を英語で歌う 	<ul style="list-style-type: none"> 英語の歌に親しみ、意味を考えながら歌う
	日本の歌のよさや美しさを感じ取って歌唱表現を工夫しよう SDGs4	<ul style="list-style-type: none"> 『赤とんぼ』を歌う 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉と旋律とのかかわりを生かして表現を工夫する 詩と音楽の一体感を表現できるように歌う
	日本の民謡の魅力を味わおう SDGs4, 16	<ul style="list-style-type: none"> 『ソーラン節』を歌う 	<ul style="list-style-type: none"> 曲種に応じた発声で民謡を歌う
	アルトリコーダーを吹こう	<ul style="list-style-type: none"> アルトリコーダーに親しむ『喜びの歌』 	<ul style="list-style-type: none"> アルトリコーダーの基本的知識、構え方、吹き方等を理解できるようにする 楽器の構え方、奏法の基本を身につける 耳慣れた旋律を演奏しながらリコーダーの音色に親しむ
	曲想と音楽の構造との関わりを理解してその魅力を味わおう SDGs4	<ul style="list-style-type: none"> 『魔王』を鑑賞する 	<ul style="list-style-type: none"> 劇的な内容や表現の豊かさを感じ取って鑑賞する
3 学期	日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わおう SDGs4	<ul style="list-style-type: none"> 『六段の調』『越天楽』を鑑賞する 	<ul style="list-style-type: none"> 日本古来の音楽に親しみながら伝統文化を理解する 雅楽の音階と「君が代」の関係を知る
	曲の構成や曲想の変化を生かして歌唱表現を工夫し合唱で思いを伝えよう SDGs16, 17	<ul style="list-style-type: none"> 混声三部合唱『僕らの奇跡』『旅立ちの日に』 式歌を儀式で歌う意義について考える『君が代』 	<ul style="list-style-type: none"> ハーモニーを味わいながら合唱することができる 歌詞のメッセージを伝える表現を工夫する 式歌を儀式で歌う意義について考える

1 年 美術科	教材	教科書、美術資料集、スケッチ鉛筆、色鉛筆、定規、のり、コンパス、アクリル絵の具、水彩絵の具、ネームペン、木材、彫刻刀、粘土など
----------------	----	---

【美術科で目指すこと】

- ・物を見て対象や事象をとらえる造形的な視点を理解する。
- ・表現の技能を身につけ意図に応じて創意工夫し、創造的に表す力を伸ばす。
- ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。
- ・楽しく美術の活動に取り組む中で創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組む。

【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
<ul style="list-style-type: none"> ◆忘れ物をしない。 ◆作品を丁寧に扱い、他人の作品にむやみに触らない。 ◆話をよく聞こう。 ◆道具や材料を大切に使う。 ◆学習のルールを守ろう。 ◆自分の感じたことや考えたことを大切にしよう。 ◆取り組んでみて、分かったことを大切にしよう。 ◆毎時間の目標にむけて、一生懸命取り組もう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆授業で学習したことが、日頃の生活の家や町の中でどのように活かされているのか、発見してみよう。 ・物の色や形、機能 美術作品の内容や設置場所 ◆生活の中で心を動かされたときや感動したときに、何故そう感じたのかを考えてみよう。 ◆季節の移ろいを五感を使って感じてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆授業で学習した内容を教科書や資料集、プリントなどを使って確認しておこう。 ・制作過程 ・基礎的な知識(鑑賞・道具についてなど) ・作品からの感じ取りなど

【評価について】

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能	授業中の活動状況、作品、定期考査、アイディアスケッチ・作品制作ワークシート類の記入状況
思考・判断・表現	授業中の活動状況、作品、定期考査、アイディアスケッチ・作品制作や美術鑑賞などのワークシート類の記入状況、ふりかえりシート
主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動状況、作品、アイディアスケッチ、美術鑑賞ワークシート類の記入状況、ふりかえりシート

各観点の比率は1：1：1です

【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19~21	小林	100点
第2回定期考査			
第3回定期考査	11/19~21	小林	100点
第4回定期考査	2/25~27	小林	100点

【担当者からのメッセージ】

絵画・彫刻・デザイン・工芸・鑑賞など様々な分野に取り組み、楽しみながら自分の世界を広げていきましょう。

毎日の生活の中で目にしたもの、感じたことや気づいたことを大切に、自分の表現に取り入れてみましょう。

基礎的な知識を学習することで、美術を理解し、ものの見方をより深めることができます。授業で学んだことを作品制作や感想などで表現しましょう。

中学校の美術の時間は限られています。毎時間の取組の積み重ねが大切です。授業がしっかりと受けられるように、忘れ物が無いか確認しておきましょう。

【授業に必ず持ってくるもの】

・教科書 ・美術資料集 ・筆記用具
・タブレット

【美術室に置いておくもの】

・絵具セット ・クロッキー帳

【1年間の学習内容】

学期	単元	学習内容	単元/題材ごとに付けたい主な力
1学期	オリエンテーション 鑑賞	美術って何だろう うつくしい！	図工から美術へ 授業についての説明 日常生活のなかで、感じたことや気づいたことを大切に し、美しいと感じる心を育てる。
	絵画	見つめ、感じ取り、描く	身近なものを観察して良さや美しさに気づく。 ものの見方や感じ方を深め、光と影の効果をとらえ自分 らしく表現する。→スケッチ、デッサン
2学期	彫塑	自然の形や色を見つめて	身近な自然物の形や色を感じ取り、実物に迫る本物らし さをあらわす。→粘土和菓子
	鑑賞	生活をいろいろ文様	生活をいろいろ文様に関心を持ち、自然物や日用品の形 の特徴などから、それらの関連性や、ものづくり、制 作意図、工夫点などを理解する。
	工芸 デザイン・色彩学	木と親しむ暮らし 色や光の特徴を知ろう	木の風合いを感じながら蒔絵（まきえ）という技法を 使って素材の特徴を活かしたデザインを考える。自分の 制作した和菓子に合った、「用の美」を理解する。→和 菓子小皿 身の回りの色に関心を持ち、色や光の性質や特徴などを 理解して、表現や鑑賞に生かす。三原色、色相環を学習 し、光による見え方の違いについて理解を深める。
3学期	デザイン鑑賞	風神雷神—受け継がれる日 本の美	風神雷神を著した作品を比較して鑑賞し、それぞれのよ さや違いについて話し合う。日本伝統の美術様式である 屏風の特性について学習し、作品の良さを味わう。
	鑑賞 デザイン	デザインって何だろう？ 文字で楽しく伝える	日ごろ使っているものなどから、どのようなことがデザ インなのか、デザインをすることはどのようなことなのか を理解し、デザインの美しさについて知る。 文字のレタリングの基礎を学習し、言葉や漢字の意味、 字体と用途の関連性などを考えて文字をデザインし、人 に伝わる様に工夫して自分らしく表現する。→レタリン グ

1年	保健体育科	教材	・ 中学体育実技 ・ 中学保健体育 ・ 学習カード
----	-------	----	---------------------------

【保健体育科で目指すこと】

- ・ 運動の合理的実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付ける。
- ・ 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- ・ 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとする意欲を育て健康・安全に留意し自己の最善を尽くして運動する態度を養う。

【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎時間のねらいを意識して授業に参加する。 ・ 粘り強く挑戦していくという姿勢をもつ。 ・ 実技では技のポイントが説明されるのでポイントを意識して授業に参加する。 ・ 仲間と協力しながら、お互いを高めあう姿勢を大切にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習カードを整理していく。 ・ それぞれの種目に効果的に補える補助的な運動（ストレッチや筋力トレーニング）を効果的に取り入れていく。 ・ 知識の部分（ルール）をしっかりと理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実技では、中学体育実技の教科書を使って、技の名称、技のポイントやルールなどをしっかり押さえた学習をしていく。 ・ 保健分野は、中学保健体育の教科書や授業で学習した内容を復習することと、配布プリントを使用して学習をすすめる。

【評価について】

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能 (4):(6)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査・授業観察 ・ 記録測定/技能テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 授業観察 ・ 学習カード
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業観察 ・ 学習カード

各観点の比率は 1 : 1 : 1 です

【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19~21	岩崎	100点
第2回定期考査	9/26, 27
第3回定期考査	11/19~21	岩崎	100点
第4回定期考査	2/25~27	岩崎	100点

【担当者からのメッセージ】

- ・ 保健体育科は実技分野と保健分野の二つに分かれます。
- ・ 実技分野では、自分の目標や課題解決に向かって粘り強く挑戦していく姿勢を身に付けていく事で、自己の記録を向上させるとともに、運動の楽しさや喜びを実感できると思います。
- ・ 保健分野は、自分のからだの事や身の回りの環境など日常生活と結びつけて学習を深めていけると充実した生活へつながります。
- ・ 保健体育の授業は、自分と向き合う種目もあれば、仲間と協力することによって成長していける教科です。
- ・ 自己や仲間の考えたことを伝えあい、仲間とコミュニケーションを大切にルールやマナー、健康・安全に関する態度を身に付けて取り組んでいきましょう。

【1年間の学習内容】

天候などにより多少前後することがあります。

学期	単元	学習内容	単元/題材ごとに付けたい主な力
1 学期	体づくり運動	体ほぐしの運動 体の動きを高める運動 ラジオ体操・集団行動 スポーツテスト	知識・技能 体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解する。運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解する。 健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることや保持増進には調和のとれた生活を続ける必要があることを理解する。 滑らかな動きで速く走ることやバトンの受け渡しでタイミングを合わせるなどができる。 助走から力強く踏み切って跳ぶことができること。各泳法の基本を身につけることができる。 思考・判断・表現 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その課題に向けて思考し判断しているとともにそれらを表現する。 主体的に学習に取り組む態度 運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助し、一人一人の違いに応じた動きなどを認め、話し合いに参加する。 健康・安全に気を配ることができること。健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組む。
	陸上競技	短距離走・リレー・走り幅 跳び/走り高跳び	
	水泳	・クロール・平泳ぎ (背泳ぎ・バタフライ)	
	保健 健康な生活と病 気の予防①	・健康の成り立ち ・運動と健康 ・食生活と健康 ・休養・睡眠と健康	
2 学期	器械運動	・マット運動/跳び箱運動	知識・技能 運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解する。 身体には多くの器官が発育し、それに伴い様々な機能が発達する時期があり、その時期には個人差があることを理解する。また思春期には生殖に関わる機能が成熟することを理解し、その変化に対して適切な行動をとることが必要であることを理解する。 基本的な技を滑らかに安定して行うとともに条件を変えた技や発展技ができる。 基本的な技能の習得や仲間と連携した動きができる。自己の適したペースを維持して走ることができる。滑らかにハードルを越すことができる。 思考・判断・表現 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 心身の機能の発達と心の健康について課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともにそれらを表現する。 主体的に学習に取り組む態度 運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を讃え、互いに助け合い教え合おうとする、一人一人の違いに応じた課題や朝鮮を大切にする。 健康・安全に気を配ることができる。心身の機能の発達と心の健康についての学習に自主的に取り組む。
	球技	・ゴール型/ネット型 ・ベースボール型	
	陸上競技	・長距離走/ハードル走	
	保健 心身の発達と心 の健康	・体の発育・発達 ・呼吸器・循環器の発達 ・生殖機能の成熟 ・性とどう向き合うか	
3 学期	球技	・ゴール型/ネット型 ・ベースボール型	知識・技能 運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解する。 精神機能は様々な経験などを受けて発達することを理解する。 思春期には自己の認識が深まり自己形成がなされることや精神と身体は相関関係にあり、欲求やストレスに対して適切に対処することや技能を身につける。 基本的な技能の習得や仲間と連携した動きができる。柔道では相手に応じた動きや基本動作を身につける。ダンスではリズムに乗って全身で踊ることができる。運動やスポーツが多様であることを理解する。 思考・判断・表現 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 心身の機能の発達と心の健康について課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともにそれらを表現する。 運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える。 主体的に学習に取り組む態度 運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を讃え、互いに助け合い教え合おうとする、一人一人の違いに応じた課題や朝鮮を大切にする。 健康・安全に気を配ることができる。心身の機能の発達と心の健康についての学習に自主的に取り組むことができる。運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組む。
	武道	・柔道	
	ダンス	・現代的なリズムダンス	
	保健 心身の発達と心 の健康	・心の発達 ・自己形成 ・欲求不満やストレス への対処	
	体育理論 スポーツの多様性	・スポーツの始まりと発展 ・スポーツへの多様な 関わり方・スポーツの 多様な楽しみ方	

1年	技術科	教材	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい技術・家庭（技術分野） ・木材加工材料 ・配布ワークシート
-----------	------------	----	---

【技術科で目指すこと】

<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な知識を理解し、基礎の定着をはかる。 ・知識と知識を関連付け、適切な作業方法を理解することができる。 ・安全にそして適切に作業する方法について理解し、実践することができる。 ・問題発見・課題解決に向けて、技術の見方・考え方（社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性）の視点から、これからの社会の在り方について考えることができる。

【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
<ul style="list-style-type: none"> ・授業中、プリントの穴埋めだけでなく、余白に気がついたこと、大事なことをメモしましょう。 ・実習では加工のポイントが説明されるので意識して作業しましょう。 ・実習では、刃物や発熱する工具等も使用しますので、指示をよく聞いて安全に作業しましょう。 ・安全に作業するために、髪が長い生徒は結ぶようにしましょう。また、ジャージを着用することもあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある製品の材料や材質について考えてみましょう。 ・ものづくりに挑戦してみましょう。 ・食品や栽培に目を向けてみましょう。 ・情報技術に関するニュースに関心を持ちましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で使用したワークシート、小テスト、教科書を確認し、技術の基本的な知識についてよく復習しておきましょう。 ・工具の正しい使い方や注意すべきポイントについて振り返っておきましょう。

【評価について】

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・課題・作品 ・技能テスト など
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・課題・作品 ・ワークシートの記入状況 など
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題・作品 ・小テスト ・ワークシートの記入状況 など

各観点の比率は 1 : 1 : 1 です

【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19～21	真木田	50点
第2回定期考査	9/26, 27		
第3回定期考査	11/19～21	真木田	50点
第4回定期考査	2/25～27	真木田	50点

【担当者からのメッセージ】

技術分野は小学校の図工と大きく異なる点があります。図工と同様にものづくりの楽しさを学ぶこと以外にも、今現在、私たちが生活している豊かな社会を作り上げた”技術”について学び、テクニックを身に付けます。1年生では木材加工の分野を、2年生では生物育成とエネルギー変換、3年生では情報技術について学習します。木材加工では、のこぎりやげんのうなどの工具を使用し、生活に役立つ作品を製作していきます。また、さまざまな製品の材質や、木材・金属・プラスチックなどの材料の性質についても学習します。

技術分野では危険な工具を頻繁に使用します。先生の説明や注意事項をよく聞き、理解し、正しく安全に工具を扱えるようになりましょう。授業での製作を通じて、ものづくりの楽しさ、完成させることの喜び、ものを大切に扱う気持ちを身に付けていきましょう。

【1年間の学習内容】

学期	単元	学習内容	単元/題材ごとに付けたい主な力
1 学期	材料と加工に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ・技術は未来を創る ・材料と加工に関する技術 ・材料の特徴 ・材料に適した加工法 ・製作品の設計 ・製作の加工手順 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術が人間の生活を向上させていることに気付き、技術が果たしている役割に関心を持つ。 ・木材、金属、およびプラスチックなどの特徴と利用方法について理解する。 ・材料に適した切断、切削などの方法について理解する。 ・切断、切削などに必要な工具や機器を正しい使用方法に基づいて適切に操作できる。
2 学期	材料と加工に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ・製作の加工手順 ・材料に適した加工法 ・製作品を丈夫にする工夫 ・基礎技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい発想を生み出し活用することができる。 ・等角図、キャビネット図および第三角法の見方や描き方について理解する。 ・製作品の構想を等角図、キャビネット図および第三角法で描き表すことができる。 ・製作図を基にして、材料取り、部品加工、組み立て、接合、仕上げができる。
3 学期	材料と加工に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ・製作の加工手順 ・完成した製作品の評価 ・材料と加工に関する技術を未来に生かそう 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい発想を生み出し活用することができる。 ・材料と加工に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響を理解する。 ・材料と加工に関する技術の課題を明確にし、適切な解決策を見いだすことができる。

1年	家庭科	教材	・教科書 ・ワークノート ・実習材料
-----------	------------	----	--------------------

【家庭科で目指すこと】

<ul style="list-style-type: none"> ・「食生活と自立」 心身ともに大きく成長する中学生期に健康を維持し体力を向上させるため、バランスのよい食事を自分で整えられることを目指します。 ・「住生活と自立」 安全で快適な住生活が送れるように、工夫して実践できることを目指します。
--

【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
<p>●ワークノートを中心に授業を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークノートへの記入はしっかり取り組みましょう。 ・ワークノートは、基本的に毎時間提出します。 <p>返却されたワークノートは各自保管しておいて下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、学習目標を提示し振り返りシートに達成できたか記入します。 	<p>●実践レポートに取り組んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校で、順次調理実習を行います。授業で調理の手本を参考に、家庭でも実践してください。 ・実践した内容を、振り返り、レポートにまとめてください。 ・食生活と住生活で家庭での実践とレポートづくりに取り組みます。提出期限を守りましょう。 	<p>●ワークノートを中心に学習をしてください。</p>

【何を評価するのか】

評価の観点	評価の主な方法	観点の比率
知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークノートの内容 ・実習での取り組み ・実践レポートの内容 ・作品 ・小テスト ・実技テスト ・定期テスト 	1
思考 判断 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークノートの内容 ・発表内容 ・実践レポートの内容 ・定期テスト 	1
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・発言、ワークノートのまとめ ・ワークノートの提出 ・実践レポートの提出 	1

【担当者からのメッセージ】

楽しく学んで、持続可能な社会をつくる姿勢と自立への力を付けていきましょう。

新型コロナウイルス感染防止対策が緩和されましたので、学校での「調理実習」を実施いたします。安全面や衛生面を一層、留意して取り組んでいきたいと思っております。

【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査		横手	50点
第2回定期考査			
第3回定期考査		横手	50点
第4回定期考査		横手	50点

学期	単元	学習内容	単元ごとに付けたい主な力
1学期	食生活と自立	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割 ・食生活の課題 ・食品と栄養素 ・中学生に必要な栄養 ・6つの食品群と摂取量のめやす ・環境に配慮した調理① ・食品ロス削減レシピづくりと実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養素のはたらきと食品に含まれるおもな栄養素を知り、中学生の時期に合った食事のとり方を考え、実践できる。 ・安全と衛生に留意し、手順を考えて日常食を整えることができる ・環境に配慮した食生活を考え、実践できる。
2学期	食生活と自立 住生活と自立	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の選択と購入 ・食品の保存 ・食品の安全 ・環境に配慮した調理② ・実習の手本を見て、家庭で実践 ・住まいの役割 ・健康で快適な室内環境づくり ・家庭内の安全 ・災害への備え 	<ul style="list-style-type: none"> ・用途に応じた食品の選択について、情報を活用して適切な選択ができる。 ・調理の目的や食材にあった基本的な調理操作ができる。 ・環境に配慮した食生活を考え、実践できる。 ・住まいの役割を理解し、健康で快適な室内環境づくりを考え、実践できる。 ・安全な住まい方と災害の備えを考え、実践する。
3学期	住生活と自立	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と環境に配慮した住まい方 ・持続可能な住生活を目指して 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や環境に配慮した住まい方を工夫できる。 ・持続可能な社会の構築という視点から、どのような工夫があるか、見つめ直してみよう。